

令和4年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・最終)

仁方中学校区 校番 1 学校名 呉市立仁方中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の今後の改善策を受け、新たな取組も加え、コンパクトに分かりやすく目標、指標が設定されている。 ・「確かな学力」「豊かな心」「たくましい体」「業務改善」を重点目標として、中期(3年間)経営目標(本年3年目)、短期(今年度)経営目標を達成するため、きめ細かく指標が設定されている。 ・中期経営目標を設定して3年目であり、「主体的に学ぶ」「豊かな心」「たくましい体」の3本柱がブレずに設定できていた。小学校とも連携がとれており、残りの半期も継続していただきたい。 ・中期経営目標として、主体的に学び、思考力・表現力・を育てる・自らを律し他人を思いやる心を育む・たくましい体を育成するという目標が立案され、それらの下に各短期目標が立案されており、高校生や大学生、ひいては、社会人に対しても充分に通ずるような目標設定になっており、すばらしいと思った。
目標達成のための方策の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の結果分析を反映させ、コグトレ等の取組を継続しながら新しい方策も組み込んだでの目標設定がしており、基礎学力の向上等目標達成に向けて取り組まれていることが窺える。 ・目標達成のための方策は、1例として「基礎学力の向上と学習習慣・読書習慣の確立」として○補充学習・コグトレ○毎日ノート○読書活動などにより、学習内容の提供や学習指導の徹底を行うなど創意工夫が見られ、適切に示されている。 ・短期目標に対して、適切な方策が考えられている。具体的な方策を記載していただくと分かりやすい。 ・目標達成のための方策として、各項目において、いろいろな視点から具体的な方策が立案されており、すばらしいと感じた。すでに行われていると思うが、自己表現能力を高めるために、総合的な学習の時間以外の各分野の授業においても、夏休みの課題等でも、実際に取り組まれているので、方策として記載して良いのではと感じた。
自己評価の結果の分析の適切さ	B	<ul style="list-style-type: none"> ・結果の分析が十分になされ今後の改善策を導くための課題が明確・詳細に導き出されています。別紙資料により達成値、達成度の根拠データが示され、詳細確認ができました。 ・それぞれの目標達成に向かっての方策・工夫により、階段を上がるが如く結果が出ている。分析も適切である。 ・指標の3分の2がほぼ目標を達成しているのが良いが、「D」評価が2項目あったことが残念です。基礎学力と基礎体力の向上を図っていただきたいが、宿題の量が足を引っ張っているような気がします。 ・結果の分析において、実践できた点だけでなく、課題もしっかりと明記されていて、分析としてはしっかりできていると感じた。何にしても当てはまると思うが、基礎的な学力、体力の定着を図っていくことが大切なんだと結果の分析から感じた。
今後の改善策(案)の適切さ	B	<ul style="list-style-type: none"> ・結果と分析を踏まえて具体的な改善策が示されています。評価の低かった基礎学力・基礎体力の向上について補充学習に力を注がれ、成果があがることを期待しています。 ・今後の改善策は焦点をしぼり、それぞれ適切な(案)が示されています。 ・改善策を絞っているのが残り半旗、しっかり実行していただきたいです。学年、学級ごとで自己評価と分析は異なるはずなので、それぞれに合った改善策を実施してください。 ・改善策も具体的に記載されていて、現状に加えて、取り組んでいただければと思う。体力向上について、補充学習の一環として取り入れられる計画もいいなと思った。ただ、日々の積み重ねが大切かと思うので、通常の体育の授業の中でも、αで、さらなる体力upの取組を行っていただければありがたいと感じた。
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・「学校楽しーと」の活用や「コグトレ」による基礎学力の定着など先進的取組を調査・研究し、どのような支援が必要かを計画的に実施している。 ・以前よりも生徒が地域で挨拶しなくなったように感じる。将来を担う生徒との繋がりを深めるために、地域からも積極的に声掛けを続けていきたい。 ・3年目となるコロナ禍の中、教職員の先生方には、予防対策を万全に行い、学習も行事実施についても大変な努力と工夫が必要であったと思う。深く感謝したい。 ・2年目となる生徒一人一台タブレット端末が貸与され、ICTによる学力向上に大いに期待したい。 ・指標である「体力テスト重点目標」の成績が気になるため、今後の補充に期待したい。 ・生徒と向き合う時間と時間外勤務は相反する関係と思います。1週間、1ヶ月、3ヶ月とマクロ的なスケジュールが計画され、実行できているか、予実確認が大切だと思います。 ・自己肯定感について、自分を知り、それを肯定的にとらえていくのが、自己肯定感の向上になると説明していただき附に落ちた。自分の性格を知り、各場面で適応させていく力を身に付けさせることは小学校では、子供の理解は難しい。中学校の教育において指導していただければありがたい。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力と基礎体力の向上に向けて、計画的に補充学習を実施 ・朝の会や帰りの会での自己表現活動、総合的な学習の時間での自己表現活動 ・小中一貫教育や学校行事を通じた自律的縦割り集団活動 ・教科指導と関連づけた防災教育の充実 ・「コグトレ」で『数える』力と『想像する』力の向上につながるトレーニング ・N中メソッドの徹底「着ベル前の授業準備」を重点的に取り組む。 ・N中メソッドを軸にした委員会活動の充実 ・生徒会執行部を中心に、ボランティア活動をすすめる。 ・仁方挨拶運動の推進
--------------------	---